

製品名: Axl (リン酸化 Tyr691) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04289**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	AXL UFO
別名	AXL; UFO; Tyrosine-protein kinase receptor UFO; AXL oncogene
遺伝子 ID	558.0
SwissProt ID	P30530
免疫原	抗血清は、ヒト AXL の Tyr691 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 657-706

背景

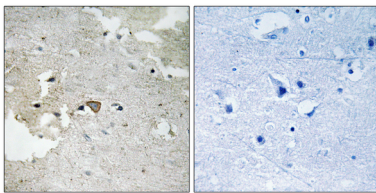
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Tyro3-Axl-Mer (TAM) 受容体チロシンキナーゼサブファミリーのメンバーです。

コードされるタンパク質は、N末端に2つの免疫グロブリン様モチーフとそれに続く2つのフィブロネクチンIII型モチーフからなる細胞外ドメインを有しています。このタンパク質は、ビタミンK依存性タンパク質増殖停止特異的タンパク質6 (Gas6) に結合して、細胞外マトリックスから細胞質へシグナルを伝達します。この遺伝子は、複数の細胞種において、増殖、遊走、凝集、抗炎症など、様々な細胞機能に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、この遺伝子には複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2013年7月]触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。疾患: 慢性骨髄増殖性疾患または慢性骨髄性白血病患者において形質転換能を有する。機能: 中胚葉起源の特定の細胞種間のシグナル伝達因子として機能する可能性がある。フィロウイルス感染の場合、細胞侵入因子として機能すると考えられる。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。AXL/UFO サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 2つのフィブロネクチンIII型ドメインを含む。類似性: 2つのIg様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを含む。サブユニット: GAS6 とのヘテロ二量体およびヘテロ四量体。組織特異性: 転移性大腸腫瘍で高発現。原発性大腸腫瘍で発現。正常大腸組織で弱発現。、

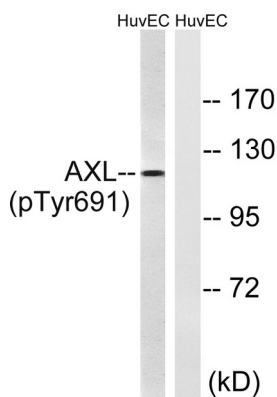
研究分野

細胞生物学

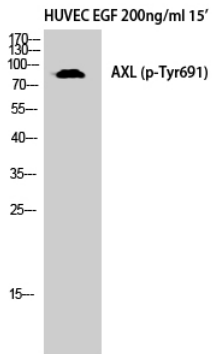
画像データ



AXL (リン酸化Tyr691) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 15 'で処理したHUVEC細胞ライセートのAXL (リン酸化Tyr691) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 Axl (Y691) ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット解析